

職 務 経 歴 書

2021年11月2日現在

氏名 藤川 尚也

■職務要約

2019年にガス給湯器メーカーである株式会社ノーリツに新卒入社し、ふろリモコンに搭載する入浴安全サポート機能の研究をしています。被験者を招いた入浴実験を担当し、42回の実験をコロナウイルス蔓延のなかスケジュール通りに完了しました。また統計学やPythonを活用して実験データの解析も実施してきました。提案している入浴事故防止機能は、新製品に搭載される見込みです。

■個人開発

2021年2月から平日2時間、休日5時間、プログラミングを学習してきました。学習教材としてYouTube、Progate、Udemyなどを利用しました。

- ・ Java Script（非同期処理等）
- ・ Node.js（CRUD機能、ログイン認証、パスワードのハッシュ化、Cookie認証、オブジェクトストレージへの画像保存）
- ・ React.js
- ・ MySQL
- ・ VPS[Conoha]へのデプロイ（CentOS、Nginx、https通信）

■開発実績

ポートフォリオURL	タイトル	プロダクト概要	工夫した点	環境/言語
https://www.seazech.com/ <テストアカウント> Eメール: test-user@gmail.com パスワード: test	SEAZECH コミュニティ 内で情報共有 ができる回覧 板アプリ	・ ホスト（管理者）によって作成されたコミュニティにメンバーが参加し、情報共有を行う回覧板アプリです。投稿した情報がメンバーに行き渡ったか確認するために、ホストは未読者を確認できます。 ・ 回覧板のWEB化が進むことを目的として、このアプリを作成しました。	・ 回覧板にある印鑑の代用として、既読機能の搭載 ・ SPAでの運用	・ React.js ・ Node.js ・ MySQL ・ conoha vps

■職務経歴

□2019年4月～現在 株式会社ノーリツ

- ◆事業内容：給湯機器、温水暖房機器、厨房機器を中心とする住宅設備機器の製造販売
- ◆資本金：20167百万円 売上高：1838百万円（2020年） 従業員数：2225名 上場

期間	担当テーマ	担当業務	環境/ ツール	メンバー/役割
2019年 4月 ～ 2019年 5月	研修	【社内研修】 マナー研修 技術研修 【社外研修】 製造、サービスショップ研修		

2019年 6月 ～ 現在	入浴安全サポート機能の研究	<p>【エビデンス取得のための実験】</p> <p>〈概要〉</p> <p>目的： 商品搭載に向けたエビデンス取得</p> <p>内容： 実験の実施及びデータ解析</p> <p>被験者数： 7名</p> <p>期間： 冬季 2020年2月 夏季 2020年7月 秋季 2020年10月</p> <p>Pythonの活用：1実験につき、1データ/秒 ×1200秒×10項目のデータ解析をPythonを用いて効率化を行った。</p> <p>統計の活用：t検定、多重比較、分散分析など</p> <p>〈結果・学んだこと〉</p> <p>結果： 実験及びデータ解析をスケジュール通り完了し、エビデンスを取得した。研究段階から開発段階（商品化）へ移行決裁が下りた。また現在、エビデンスを論文化する方向で調整中。</p> <p>学んだこと：①実験本番に向けて実験計画を立て、予行練習を何度も行い、改善を繰り返すことで、PDCAサイクルの回し方が身についた。 ②データ解析にPythonを活用した経験によって、仕事の進め方を自分なりに工夫する大切さを実感した。</p>	Python Excel	メンバー：4名 担当：実験、データ解析
------------------------	---------------	---	-----------------	------------------------

■活かせる経験・知識・技術

- ・統計分析
- ・新しい技術、手法を習得し、業務で活かした経験（Python、3D CAD）
- ・新入生歓迎会イベント企画・運営のリーダー経験
- ・業務の進め方（PDCAサイクル、OODAループ）

■論文・特許・学会発表

- ・特許出願 2件（2019年1件、2020年1件）
※入浴事故防止機能に関連するシステムについて

■資格

- ・普通自動車運転免許証（令和01年10月）

■自己PR

数式に対する姿勢

大学時代は物理学専攻であり、数学、物理に対して抵抗なく取り組みます。現在は入浴の安全をサポートする新機能の研究開発に取り組んでおりますが、数式が関連する場面で貢献した経験があります。例えば統計について当時は知識が無かったですが自ら学習し、逆に先輩から統計に関して頼られるまでになりました。また実験を計画する際、統計で有意差（結果）が出るのに必要なn数の設定方法について文献より見つけ出し、実験条件の設定で採用されたこともあります。プログラミングにおいても、数式のような論理式に対して抵抗なく取り組める姿勢を活かせると思います。

前例がないことに挑戦

業務外ではありますが今年の新入生歓迎会の企画・運営のリーダーとして、イベントを実施しました。コロナウィルスの理由で新入社員と先輩社員が直接対面することは難しいため、新入社員は研修会場（ホテルの宴会場）で、先輩社員は各宅からZOOMを介して実施する方法を採用しました。前例が無く、また準備期間が2ヶ月ほどしかないなか、計画（イベント計画立案）→検証（予行練習）→修正（計画の修正）のサイクルを早く回すことを意識して準備を進めました。予行練習で修正箇所があまりにも多く大きな不安を覚えたこともありましたが、メンバーと議論しながら計画を修正し、予行練習をできるだけ多く実施することで企画を詰めていきました。結果としては無事成功し、私には前例が無いことでも挑戦し形にできる力があると感じました。エンジニアにおいても、前例のないプロジェクトを任された場合はこの経験を活かし乗り越えられると思います。

以上